

指導案・提案資料

① 指導案

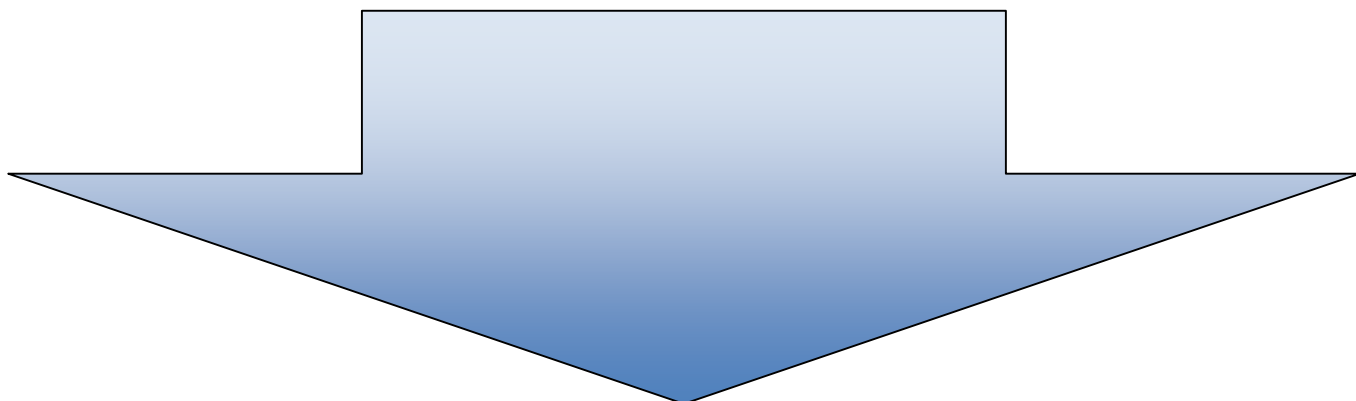
② 提案資料

※ 第100回教育研究発表会の紀要に掲載している指導案と、本実践に関わる提案資料です。

※ 提案資料は、指導案の補助的なものとして研究会当日に配布したものです。本提案資料は「教材の宝箱」版として、一部修正を加えています。

※ 本実践に関するご意見・ご質問につきましては、本校研究部までお願いします。

メールアドレス→sakashokenkyu@ed.kagawa-u.ac.jp



第6学年東組 国語科学習指導案

学習指導者 西吉 亮二

1 単元「自分の生き方について考えよう - 『プロフェッショナルたち』 - 」

2 単元について

(1) 育成したい「思考力」と学びに熱中する子どもの姿

【育成したい「思考力」】

さまざまなプロフェッショナルの生き方について書かれた文章を読み、それらを基に自分が目指す生き方についての考えを創造する力

文章を読んで自分の生き方について考えることに興味をもち、自分が目指す生き方についての考えを友達と交流することで、その共通点や相違点から、考えを広げたり深めたりするとともに、他の文章からも自分の生き方について考えようとしている。

【学びに熱中する子どもの姿】

本単元では、自分は将来、どのようなプロフェッショナルを目指したいのかを考え、交流するという言語活動を行う。その中で学習指導要領「C読むこと」の指導事項オ「本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすること」を指導する。まず、さまざまな職種のプロフェッショナルについての文章を読み、その人のこれまでの行動や考え方から生き方を捉える。次に、その生き方から自分が参考にしたいことをカードにまとめる。その際、例えば「今の自分は習い事で大変なことがあればすぐ逃げようとしてしまうよ。杉野さんの『自分との果てなきたたかい…』の文からチャレンジし続ける姿勢こそが大切だと感じたよ。国村さんの『明日はどんなふうに打って…』からも向上心をもつことの大切さが伝わってきたよ。だから私も向上心をもって困難に立ち向かう人になりたいよ」等と、自分の経験等とつないで目指したい生き方についての考えを創造するのが本「思考力」である。

子どもたちは、プロフェッショナルに関する文章を読み、すばらしさにふれることで、自分の目指す生き方について考えることに興味をもつ。そして、さまざまな文章を読み、自分が目指す生き方についての考えを創造し、その考えを友達と交流する。その際、「杉野さんの『自分との果てなきたたかい…』や、国村さんの『明日はどんなふうに打って…』から、僕は、向上心をもつ人になりたいと思ったよ。今の自分は、ある程度できたらすぐに満足してしまうところがあるから、もっと上を目指せるようになりたいな」「僕も向上心が大事だというのは同じだよ。でも『果てなきたたかい…』という文から行動し続けることも大事だと思ったよ」「確かに、向上心をもつだけでなく行動し続けることも大事だね。同じ文からでも、自分とは違うことを感じたんだね」のように、考えの共通点や相違点に気付き、自分の考えを広げたり深めたりしていく。複数のプロフェッショナルについての文章を読んで自分の考えを創造することや、その考えを友達と交流することで、目指す生き方が、より明確になることを実感した子どもたちは、他の文章からも自分の目指す生き方について考え、その考えを友達と交流しようとするだろう。このような姿が学びに熱中する姿である。

(2) 自信度を高め、新たな問題を共有する場を位置づけた単元構成について

総合的な学習の時間の様子から、本学級のほとんどの子どもたちは、将来就きたい職業のイメージをもっている。また、質問紙調査では、35名中26名が自分の将来の姿を考えることに興味をもっている。一方、文章が長く、要点を捉えることができないために、自分の考えを創造することに自信がないと感じている子どもが半数以上いる。

そこで、単元内に難易度を変化させた課題解決の場を複数回用意する。そうすることで生き方を捉えて自分の考えを創造する体験を積み重ねられるようにし、自信度を高めていく。まず、教科書教材の3名の内、勝俣さんの事例を取り上げる。読む際は、行動や考え方に着目すればよいことを共通理解した上で、どのような生き方をしているのか捉えさせる。そして、特にプロフェッショナルだと思った行動

や考え方を今の自分と比較し、目指す生き方についての考えを創造する。その後、国村さんと杉野さんの事例について順に読み、勝俣さんと同じように生き方を捉えていく。その際、それぞれの生き方を関係づけて、自分の考えを創造させるようにする。このように、その人の生き方を捉えて自分の考えを創造していく経験を積むとともに、友達と交流することによって多様な考え方に触れることで、自分の考えが広がったり深まったりするおもしろさを感じられるようにする。そうすることで、「もっと他のプロフェッショナルについての文章を読み、自分の目指す生き方について考えたい」という思いをもつと考える。その新たな問題を全体で共有し、さまざまなプロフェッショナルについて書かれた文章を読み、交流する場を位置づけることで、自分の考えを創造することに主体的に取り組むことができるようにしたい。

(3) 単元計画と学習意欲への働きかけ (総時数 8時間)

次	主な子どもの意識および学習の流れ	学習意欲への働きかけ
第一 次	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">①② 自分が目指す将来の姿を考える計画を立てよう</p> <p>子どもたちは、自分が目指す将来の姿について考える計画を立てる。まず、身の回りにはどのようなプロフェッショナルがいるのかを調べたり、現段階での自分はどのような生き方を目指したいのか考えたりする。</p>	<p>②～⑦ 関・自</p> <p>【プロフェッショナルロード】</p> <p>生き方を捉える際に着目した視点と、自分の目指す生き方について創造した考え等を補助黒板に書かためていくことで、考えを創造する際の参考にしたり、考えの広がりや深まりを視覚的に捉えられるようにしたりする。</p>
第二 次	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">③ 勝俣悦子さんの生き方から、自分が大切にしたいことを考えよう</p> <p>まず、「海獣医師、勝俣悦子」の生き方を捉える。その後、この事例の中で自分がプロフェッショナルだと感じた行動や考え方をカードに書き出し、それらを基に自分の目指す生き方について考え、友達と交流していく。交流の中で、着目した叙述や創造した考え等の共通点や相違点を見つけ、自分の考えを広げたり、深めたりしていく。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">④ 国村次郎さんの生き方からも、自分が大切にしたいことを考えよう</p> <p>次に、「板金職人、国村次郎」の生き方を捉える。1人目と同じように、行動や考え方に着目し、自分が目指す生き方についてを考えていく。前時の事例とのつながりも捉えながら、自分が目指す生き方についての考えを創造し、前時と同様に友達と交流していく。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">⑤ 杉野英実さんの生き方からも、自分が大切にしたいことを考えよう</p> <p style="text-align: right;">本時 (5/8)</p>	<p>③～⑦ 自</p> <p>【プロフェッショナル図鑑】</p> <p>文章から捉えたプロフェッショナルの姿と、それに対する自分の考えの二つに焦点化したプロフェッショナルカードを書かためていき図鑑にする。自分の考えを創造する際にさまざまな人の生き方から学んだことをすぐに振り返ることができるようにする。</p>
第三 次	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">さらに「パティシエ、杉野英実」についても同様に自分の考えを創造する。複数の事例で考えを創造し、その考えを友達と交流することを通して、自分の考えを創造することへの自信を高め、自分の考えの広がったり深まったりするおもしろさを感じた子どもたちは、「他のプロフェッショナルについての文章からも、自分の目指す生き方について考えたい」等の新たな問題を表出する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">⑥⑦ さまざまなプロフェッショナルたちの生き方から、自分の目指す将来の姿を考えよう</p> <p>さまざまなプロフェッショナルについての文章を読み、それぞれの生き方から、自分が目指す生き方についての考え、カードにまとめて交流する。</p>	<p>----- 振り返り -----</p> <p>①～⑧ 【次への一歩】</p> <p>「友達と話し合ってよかったこと」、「さらにチャレンジしたいこと」をノートに記述させる。そして、それらをグループで交流させ、協働のよさに気付かせたり、次時への意欲を高めたりする。</p>
第三 次	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">⑧ 自分の目指す将来の姿についての発表会をしよう</p> <p>これまで考えてきたことを基に自分の目指す生き方についてまとめ、友達と発表し合う。</p>	

3 本時の学習指導

(1) 目標

「パティシエ，杉野英実」のプロフェッショナルとしての生き方を捉え，これまでの事例と関連させながら，自分が目指す生き方についての考えを創造することができる。

(2) 学習指導過程

学 習 活 動	子 ども の 意 識
1 前時明らかになった課題を共有し，学習課題をつくる。 関・自【プロフェッショナルロード】	前の時間は，勝俣さんと国村さん二人の生き方から，自分の目指す生き方考えることで，より深く考えられたな。 今日は，パティシエの杉野英美さんの生き方からも自分の目指す生き方について考えていきたいよ。
杉野英実さんの生き方からも，自分が大切にしたいことを考えよう	
2 教材文から杉野英実の生き方を知り，どのようなところがプロフェッショナルだと思うか考える。 自【プロフェッショナル図鑑】	25歳でフランスに渡り，ペルティエの店で働きたいと4年も手紙を送り続けたんだね。そこで菓子作りの奥義を知ったんだね。 ペルティエの店で働きたいと，僕は，出店依頼を断り路地裏の小修業先を転々としながら4年も小さなお店で，自分の目指す菓子を作ることにチャレンジし続けていることがプロフェッショナルだと思ったよ。国村さんと重なる部分があるね。
3 自分が目指すプロフェッショナルについてまとめる。 (1) 自分でまとめる。 (2) グループで交流する。	自分の将来の夢を叶えるために，何でもある程度できたらすぐに満足してしまうのではなく，杉野さんのような「常に向上心をもって行動し続ける人」になりたいよ。 私は，習い事等で苦しいことにぶつかることで，途中で諦めてしまうことがあるので，杉野さんや勝俣さんのような「自分で目標をもちチャレンジし続ける人」を目指したいよ。 今の自分は面倒なことを嫌がったり，諦めたりしてしまうことがあるから，三人のように自分の夢を叶えるまで「どんな困難に直面しても決して諦めない人」になりたいよ。
(3) 全体で紹介し合う。	○○さんの『自分との果てなき』から考えた粘り強さは，国村さんの『最後までやるしかない…』と共通しているね。 向上心の大切さって『手紙を書き続けた』という叙述だけでなく，確かに『自分との果てなき』からも伝わってくるね。 同じ人の生き方から考えていても，読む人によって考えは違うんだな。 理由は違うけれど，「行動し続ける」「チャレンジし続ける」「諦めない」という生き方が共通しているね。僕は，最初向上心が大切だと思っていたけれど，それを持ち続ける粘り強さも大切にしたいよ。
4 本時の学びを振り返る。 振【次への一歩】 関・自【プロフェッショナルロード】	他のプロフェッショナルについての文章からも自分の生き方について考えてみたいな。いろいろなプロフェッショナルについての文章から考えると，自分の生き方が，もっとはっきりしそうだよ。

提 案 授 業 1 指 導 案

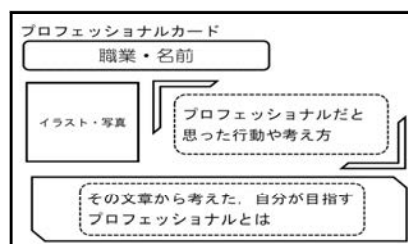
(3) 授業の詳細

前時までの子どもの意識 学習活動1

前時までに子どもたちは、勝俣悦子さんと国村次郎さん、2人の生き方から、自分がプロフェッショナルだと感じた行動や考え方を見つけ、それらを基に自分のなりたい将来の姿を考えてきた。本時は、まず、一人だけではなく、二人の事例から自分の考えを創造したときの方が、より考えが広がったり、深まったりしたことを確認する。**関・自【プロフェッショナルロード】**そして、前時に表出していた『パティシエ、杉野英実』の生き方から、自分の目指す生き方を考える上で大切にしたいことを見つけたい」という課題を確認する。

学習活動2

杉野英実さんについて書かれた文章を読み、生き方を捉えていく。その際、「パティシエを目指したきっかけ」→「直面した困難や、それを乗り越えるための努力」→「見いだした考え方」等のポイントを板書上に示しておく。また、前時までに読んできた事例と共通しているところに着目させる助言を行う。そして、自分が特にプロフェッショナルだと感じた行動や考え方を右図のカードに記入する。



【プロフェッショナルカード】

学習活動3

活動2でカードに書いた、特にプロフェッショナルだと思った行動や考え方を基に、自分が目指す生き方について考える。その際、考えの理由についても明確にするよう助言する。理由を考えることが苦手な子どもについては、前時までに書いてきたカードを参考にし、これまで読んできた事例との共通点や、プロフェッショナルだと思った行動や考え方と、今の自分とを比較することで考えが明確になったことを想起させる。**自【プロフェッショナル図鑑】**次に、考えをグループで交流する時間を設定する。グループ交流では自分の目指す生き方を考える上で大切にしたいこととその理由を発表するよう助言する。その際、自分の考えとの共通点や相違点を見つけながら聞くという交流の視点を全体で共通理解する。そうすることで大切にしたいことが同じでも、着目した叙述が違ったり、着目した叙述が同じでも、自分の目指す生き方についての考えが違ったりすることに触れ、自分が大切にしたい考えが付け足されたり、自分の考えが変わったりして、自分の考えの広がりや深まりを感じていく。創造した考えを全体で交流する際には、友達との共通点や相違点を見つけている子どもや、友達の考えを聞いたことで自分の考えが付け足したり、変わったりした子どもを意図的に指名し、自分の考えが広がったり、深まったりしたことを確認する。

学習活動4

振り返りでは、「友達と話し合っよかったこと」、「さらにチャレンジしたいこと」をノートに記述させる。そして、それらをグループで交流する場を設定する。そうすることで「○○さんの考えを聞き、自分の考えに新たに大切にしたいことを付け足したよ」のように、自分の考えが広がったり、深まったりしたことを共通理解でき、協働のよさを実感することができる。**振【次への一步】**また、本時の学びの成果をプロフェッショナルロード上に示し、目指す生き方についての考えが更新されていることを視覚的に捉えられるようにするとともに、次時への見通しをもつことができるようにする。**関・自【プロフェッショナルロード】**そして、「もっと他のプロフェッショナルの文章を読んで、ここからも自分の目指す生き方について考えたい」等の思いを共有し、次時の課題につなげる。

(4) 総括的評価

プロフェッショナルについて書かれた文章を読み、プロフェッショナルとしての生き方を捉え、これまでの事例と関連させながら友達と話し合い、自分の目指す生き方についての考えをカードに書いている。
【方法：発言、カード】

平成 30 年 1 月 25 日

第 100 回教育研究発表会 資料

国語科 第6学年東組

「自分の生き方について考えよう - 『プロフェッショナルたち』 -」



香川大学教育学部附属坂出小学校
教諭 西吉 亮二

1. 単元について

本学級（35名）の子どもたちに「国語の授業で説明文を読むのは好きですか」と聞くと、好きと答える子どもが半数程度であった。あまり好きではないと答えた子どもたちの理由から、「自分の興味のある内容の文章ではなく、読むことが大変だから」や「文章量が多くて、一番大切なところが分かりにくいから」等、読むこと自体に苦手意識があることが分かった。この背景としては、インターネットやテレビ等、画像や動画から情報を得ることに慣れたことで、活字離れが進んでいることが考えられる。そして、文章に正対することが難しいため、内容をきちんと読むことができず、文章を咀嚼して、自分の考えを創造した経験が少ないと言える。そこで、まず、このような子どもたちに説明文の読み方を身に付けさせることで、文章を読んで捉えたことを基に、自分の考えを創造することができるようにしたいと考えた。そして創造した自分の考えを、友達と交流したり、関連する複数の文章を読んだりして自分の考えが広がったり、深まったりするおもしろさや楽しさを感じられるようにしたいという願いから本単元を構成した。

【本単元で育成したい「思考力」】

さまざまなプロフェッショナルの生き方についての文章を読み、それらを基に自分が目指す生き方についての考えを創造する力

〈言語活動と指導事項について〉

本単元では、将来の自分と重ね合わせながらプロフェッショナルについて書かれた文章を読み、それぞれの考えを友達と交流するという言語活動を通して、学習指導要領「C読むこと」の指導事項「本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすること」を指導する。まず、さまざまなプロフェッショナルについて書かれた文章を読み、生き方を捉える。そして、特にプロフェッショナルだと感じた行動や考え方と、自分が目指す生き方についての考えをプロフェッショナルカードにまとめる。その際、例えば「今の自分は、習い事で大変なことがあるとすぐに諦めてしまっているから、杉野さんの『自分との果てなきたたかい…』という考え方から、うまくいなくてもチャレンジし続ける姿勢が大切だと思ったよ。国村さんの『明日はどんなふうに打ってみよう…』からも向上心が大切だと感じたよ。だから将来は、どんな困難にも向上心をもって立ち向かう人になりたいよ」のように自分の考えを創造していく。そして、その考えを友達と交流することで、同じ行動や考え方に着目していても、自分が目指す生き方についての考えは違っていたり、自分とは別の行動や考え方に着目していても目指す生き方についての考えは同じであったりすることに気付くだろう。このように自分と友達の考えとの共通点や相違点に気づき、それまでの考えを広げたり、深めたりしていくのである。

〈現行学習指導要領における指導事項のつながり〉

本単元での重点指導事項である「C読むこと」指導事項は指導事項ウと関連を図りながら指導する。

指導事項ウ

目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながらかいたりすること。



指導事項オ

本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすること。

〈新学習指導要領では〉

【知識・技能】

カ 文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解すること。

【思考力・判断力・表現力等】

C 読むこと

オ 文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えをまとめること。

カ 文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。

2. 子どもたちの実態

本単元に入る前に、以下のような実態調査を行った。

(質問紙1)

国際アンケート①

6年 組 ()

- 「プロフェッショナル」という言葉を知っていますか。
・知っている ・知らない ・聞いたことはあるけれどよく分からない
- (※1で知っていると言えた人) プロフェッショナルとは、どんな人だと思えますか。
- あなたが知っているプロフェッショナルだと思う人がいれば教えてください。
プロフェッショナルだと思う人 その理由
- 将来、どんな職業に就きたいですか (いくつでもかまいません)
- 自分が目標としている人はいますか。いれば、教えてください。
目標としている人 理由
- 自分の将来の姿や、これからの生き方を考えることに興味はありますか。
・ある ・ない ・わからない
理由

(質問紙2)

国際アンケート②

6年 組 番 ()

- 尊敬している大人はいますか。(スポーツ選手、職人、家族、有名人など)
・いる ・いない
尊敬している人 理由
- (1) いると言えた人は、その人のことをどこで知りましたか。
・本 ・テレビ ・インターネット ・その他 ()
- 自分の将来を考えることに興味はありますか。
・ある ・ない ・わからない
- こんな「生き方をしたい」や、「こんな人になりたい」というイメージを持っていますか。
・持っている ・もっていない
- 説明文を読むのは好きですか。
・好き ・まあまあ好き ・あまり好きではない ・好きではない
理由
- 説明文を読んで、筆者の考えをまとめることは得意ですか。
・得意 ・まあまあ得意 ・あまり得意ではない ・苦手
理由
- 本や、説明文を読むとき筆者の考えに対して、自分の考えをもちながら読むことは得意ですか。例えば、「筆者は～言ってるけど、僕は○○だと思ってる。」
・得意 ・まあまあ得意 ・あまり得意ではない ・苦手
理由

国語アンケート3

6年東組 番 ()

- 将来就きたい職業はありますか。
ある ない
 あると答えた人は、どんな職業ですか？
- 自分の就きたい職業の分野で目標とする人はいますか？
いる いない
 いると答えた人で名前が分かれば教えてください。
- 家族以外で憧れたり、目標としたりしている大人はいますか？
いる いない
 いると答えた人で名前が分かれば教えてください。
- 授業中、自分の意見を発表したり、説明したりできていますか。
できている まあまあできている あまりできていない できていない
 そのように答えた理由を教えてください。

(友達に関するアンケート)

- クラスの友達は、自分の発表をしっかりと聞いてくれますか？
そう思う まあまあそう思う あまりそう思わない そう思わない
- 自分は、友達の発表をしっかりと聞いていますか？
聞いている まあまあ聞いている あまり聞いていない 聞いていない
- 同じグループになると意見を言いやすいなあと感じる友達はいますか？
はい いいえ
 はいと答えた人、それは誰ですか？また、そう感じる理由を教えてください。
 名前 理由

上記のような質問紙調査を行うことで、本単元に入る前に学習内容にどの程度関心や自信を持っているのかを把握することができる。質問紙調査の結果、29名が自分の将来の姿や、これからの生き方について考えることに興味があることや、25名が将来こんな生き方をしたいというイメージをもちながらも、そのイメージはかなり抽象的なことが分かった。また、説明文を読んで、筆者の考えをまとめることが苦手と感じていたり、読んだことに対して自分の考えをもつことが苦手と感じていたりする子どもが半数以上いることが分かった。これらのことから本学級の子どもたちは関心度が高く、自信度が低いという実態であることが分かった。また学習内容への興味や自信とは別に、学級内の人間関係等に関する調査も行った。この結果を座席配置等に生かしている。

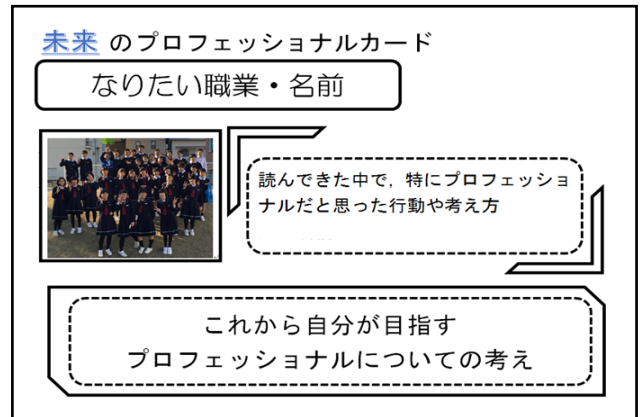
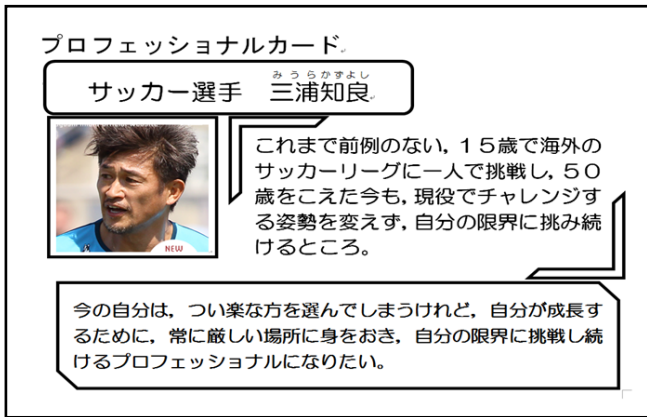
プロフェッショナルカード

職業・名前

イラスト・写真

①プロフェッショナルだと思っ
た行動や考え方

②自分が目指すプロフェッショナルについ
ての考え

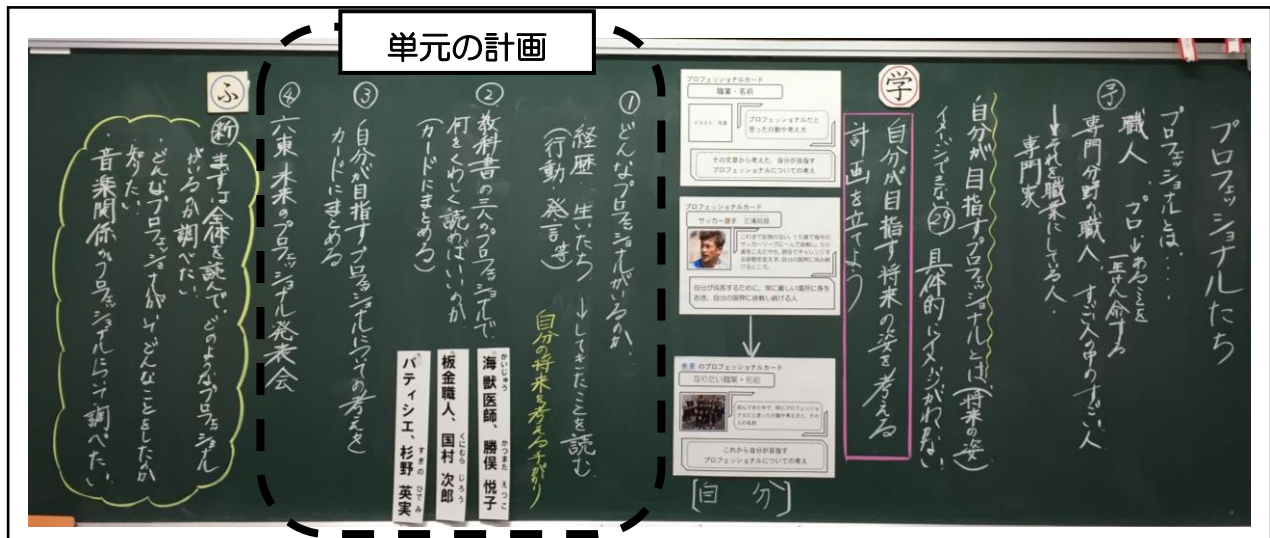


カードに書く内容を①「プロフェッショナルだと思った行動や考え方」と②「自分が目指すプロフェッショナルについての考え」に焦点化することで、文章を書くことや、文章を読むことに自信がない子どもたちが、「このカードならできそうだ」という見通しをもてるようにした。そして、読んだプロフェッショナルごとに友達と交流しながらカードを書いていき、書きためたカードで自分のプロフェッショナル図鑑を作っていく。このような学習の中で、複数のプロフェッショナルについて読み、交流することが、自分の考えを広げたり深めたりすることを実感していくと考えた。

3. 本単元における本時までの学び

第1時 自分が目指す将来の姿を考える計画を立てよう

〔板書〕



第1時の導入では、卒業を意識させ、将来のことを考えていくこととした。子どもたちは、中学校で入りたい部活や勉強のことについて考えた。そして、本単元は中学校からもう少し先の自分の将来について考えていくことを確認した。まず、プロフェッショナルという言葉の意味について問うと、自分の予想で「あることを一生懸命する人」や「その職業のすごい人」と答えたり、辞書で調べて「職人」や「専門家」と答えたりした。その後、「みんなは、どんなプロフェッショナルにな

りたいですか」と問うと、まだよく分からないと答えた子どもがほとんどであった。将来について、真剣に考える機会がなかった事に気付いた子ども達は、改めて、その必要性を感じ始めた。そこで、自分が目指すプロフェッショナルについて考え、発表会をするという本単元のゴールを設定した。ゴールを設定した後、目指すプロフェッショナルについての考えをまとめる際にはプロフェッショナルカードを使って行うことを教師のモデルを使って説明した。単元のゴールに向かう計画は板書の通りである。

〔学習課題を設定する際の子どもの姿〕※T：(教師の発言) C：(子どもの反応)



T： みんなは将来、どんなプロフェッショナルになりたいですか。

C： なりたい職業はあるけれど、自分の将来の姿って具体的にイメージするのは難しいな。

T： 国語アンケートに、自分がなりたい将来の姿を答えていた人がいたね。

C： こんな大人になりたいっていうのなら優しい大人とか、何事にもがんばる人とかかな。

C： なりたい職業がまだ決まっておらず、興味のある職業ならいくつかあるよ。

振り返り【次への一步】

(さらにチャレンジしたいこと)

- どんなプロフェッショナルがいるか調べたい
- どんなプロフェッショナルがいて、その人は、どんなことをしたのか(経歴)を知りたい。
- 自分の興味のある音楽関係のプロフェッショナルを調べたい。

これらのプロフェッショナルカードを作る上での課題が表出され、第2時間目は、どのようなプロフェッショナルがいるのか調べるという学習課題を設定した。

〔子どもをつまずき〕

子どもたちの中には、自分がなりたい職業を明確にもっている子もいれば、まだ悩んでいる子もいる。そこで、悩んでいる子どもに対しては、さまざまな職業のプロフェッショナルについて学んでいく中で、自分が大切にしたい考え方等を見つけていけばよいことを助言した。

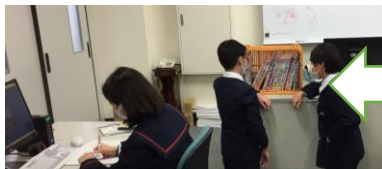
第2時 どんなプロフェッショナルがいるのか調べよう

【板書】



T: 教科書には、3人のプロフェッショナルがいましたね。
 C: パティシエの杉野英実さん、海獣医師の勝俣悦子さん、板金職人の国村次郎さんです。今日は他にはどんなプロフェッショナルがいるか調べたいです。
 T: そうでしたね。調べるときは、どんなことをノートに残しておくといいかな。
 C: 名前は絶対必要です。あとは、職業もいると思います。
 T: なるほど、そうですね。あと、どんなところがプロフェッショナルなのかも分かるといいんじゃないかな。
 C: 確かにそうだ。特にすごいと感じたこともノートに書いておくといいと思います。

第2時は、前時の振り返りから、「どんなプロフェッショナルがいるか調べよう」という学習課題を確認した。そして、インターネットや本で調べていく活動を行った。



インターネットだけでなく、本でも調べられるよう、職業に関する本を用意しておくで子どもの興味に合わせて調べることができた。

振り返り【次への一歩】

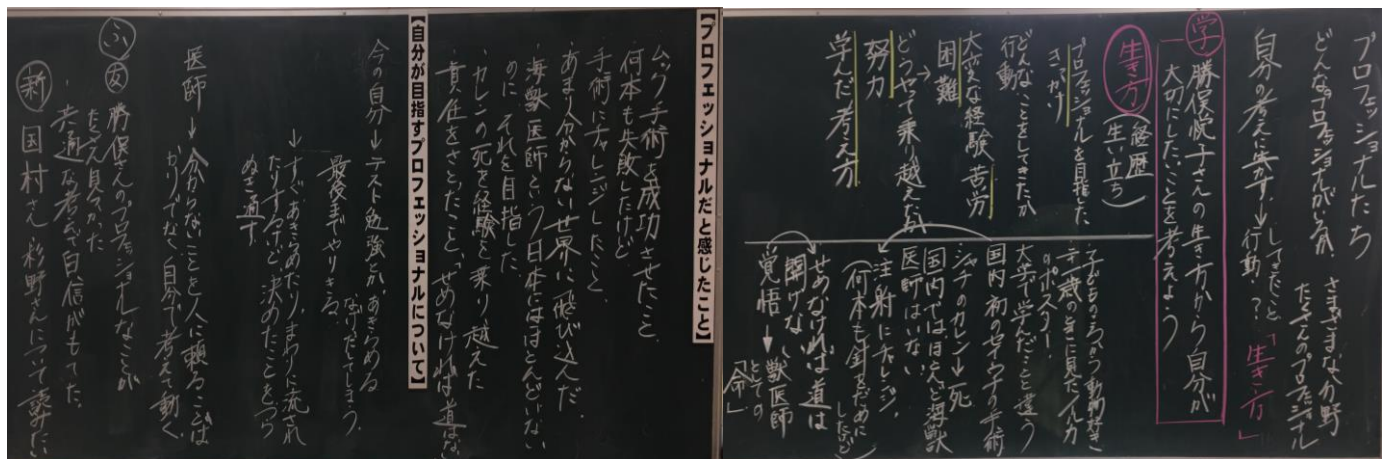
(さらにチャレンジしたいこと)

- 調べたプロフェッショナルについてもっと友達と交流して、みんながどんなプロフェッショナルを調べたのか知りたい。
- たくさん調べられたけれど、どういうところを詳しく読めば、自分に生かせるか考えたい。

第2時で、子どもたちは、さまざまな分野で、たくさんのプロフェッショナルがいることを知った。さらにそれぞれのプロフェッショナルについて、インターネット上には多くの情報が載せられていることから、どんなところを読めばいいのか分からないという意見が出された。その意見を全体で取り上げ、次時では共通教材『プロフェッショナルたち』を読んで、プロフェッショナルについて書かれた文章のどんなところを詳しく読めばいいのか考えようという学習課題を設定した。

第3時 勝俣悦子さんの生き方から、自分が大切にしたいことを考えよう

【板書】





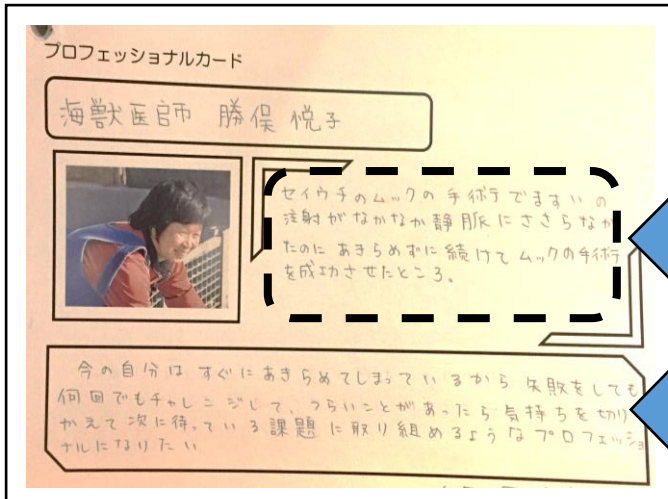
T : この学習のゴールは、何をする事だったかな。
 C : 自分が目指すプロフェッショナルについての考えをまとめて発表会をすることです。
 T : そうでしたね。プロフェッショナルについてたくさん調べたことが自分の考えをまとめるときに生きてくるんだね。プロフェッショナルについての本を読んだとき、どのように自分の将来を考える参考になるのかな？
 C : その人がどんなことをしてきたのかだと思います。
 C : 人生とか、生き立ち、生き方 等

その中から教師が生き方という言葉を取り上げ、プロフェッショナルの生き方を詳しく読んでいくことを共通理解した。生き方を読む際に、教材文の中のどんなところに着目すればよいのかを全体で話し合うと、以下の3点にまとまった。

- その職業を目指したきっかけ
- その人が経験した困難や苦労とそれを乗り越えるための努力
- その人が学んだ考え方

この3つのポイントに着目して、教材文「海獣医師、勝俣悦子」を読んでいった。

「海獣医師、勝俣悦子」の生き方を捉えた後、①特にプロフェッショナルだと感じたことをプロフェッショナルカードに書いた。そして、②勝俣悦子さんの生き方から、これから自分の目指すプロフェッショナルについての考えを創造した。



- ① 「海獣医師、勝俣悦子」を読み、特にプロフェッショナルだと感じたこと
- ② 勝俣悦子さんの生き方から、これから自分の目指すプロフェッショナルについての考え

考えを創造する時のポイント

「思考力」の中の「自分が目指す生き方についての考えを創造する」とは、勝俣悦子さんの生き方を捉え、その中から自分のこれからは生かしたい考え方をまとめることである。その際、指導要領にあるように自分の知識や経験、考え等と関係付ける必要がある。本学級の子どもたちは、1学期の総合的な学習の時間に自分のなりたい職業について調べたり、修学旅行でキッザニア甲子園を訪れたりした際に自分がなりたい職業は、どのような仕事内容なのか、どのような大変さがあるのか等を学んでいる。そこでそのような知識とつないで考えるとよいことを助言した。そうすること

で、「自分の将来なりたい職業は、医師だから、勝俣さんのような何度失敗しても切り替えて次の課題にチャレンジすることを大切に、どんな難しい手術にもあきらめずにチャレンジする医師になりたい」のように自分の考えを創造することができる。また、子どもたちの中には、なりたい職業を明確にもっていない子どももいる。そのような子どもには、今の自分とつないで考えてもよいことを助言した。そうすることで「今の自分は、大変なことがあるとすぐにあきらめてしまっている。だから失敗しても何回でもチャレンジして、つらいことがあっても気持ちを切り替えて、次に待っている課題に取り組めるようなプロフェッショナルになりたい」のように自分の考えを創造することができる。

考えを創造する際のポイント

- ① 将来、なりたい職業とつないで
「将来、なりたい職業は、～」
- ② 今の自分とつないで
「今の自分は、～」

振り返り【次への一步】

(友達と話し合っただこと)

- 勝俣さんのプロフェッショナルなことがたくさん見つかった。自分では、気付かなかったところに気付くことができた。
- 友達の考えと自分の考えに共通点があって、自分の考えに自信がもてた。

(さらにチャレンジしたいこと)

- 次は、国村次郎さんの生き方を読みたい。
- 国村次郎さんの生き方から、自分の目指すプロフェッショナルについて考えたい。
さらにチャレンジしたいことから、国村次郎さんの生き方を読んで、自分の目指すプロフェッショナルについて考えていくことを次時の学習課題に設定した。

第4時 国村次郎さんの生き方からも、自分が大切にしたいことを考えよう

【板書】

The image shows a classroom board with handwritten notes in Japanese. On the right side, there is a photograph of a man in a white lab coat, identified as Dr. Kunimura. The notes are organized into sections with arrows and circles. The main text on the board includes:

- プロフェッショナルだと感じたこと**
 - どんなに困難な仕事も、必死で辛辛と見守り、歯をくしばいて
 - 明日はどんな風に打てよう、常に自分の仕事に誇りをもち、
 - あきらめず、やり切ること、自分をみなが、
 - シムシムの打ち出し、涙を見守りて、自分、
 - い完成させた。
 - 最後までやめたい、やり切った、こ。
- 自分が目指すプロフェッショナルについて**
 - 今の自分↓大変なことを、すべからず、あきらめず、
 - しつこく、やりぬく、最後まで
 - やりぬく、
 - ↓ 勉強、い、難し、問題を、あきらめず、
 - し、ま、す、じ、最後、ま、す、ま、す、ま、す、
 - す、に、日、夜、車、夢、に、向、き、
 - 天、神、問、答、↓ 勉強、い、大変、な、こ、あ、ま、り、
 - す、に、日、夜、車、夢、に、向、き、
- 振り返り**
 - 友達の考えと自分の考えに共通点があって、自分の考えに自信がもてた。
 - 次は、国村次郎さんの生き方を読みたい。
 - 国村次郎さんの生き方から、自分の目指すプロフェッショナルについて考えたい。
- さらにチャレンジしたいこと**
 - さらにチャレンジしたいことから、国村次郎さんの生き方を読んで、自分の目指すプロフェッショナルについて考えていくことを次時の学習課題に設定した。

On the far right, there is a photo of a doctor with the caption: **プロフェッショナルたち 板金職人 国村次郎**. Below the photo, there are notes: **国村次郎さんの生き方からも、自分が大切にしたいことを考えよう**.

〔第4時の導入の子どもの姿〕



C：今日は、国村次郎さんの生き方を読んで、自分が目指すプロフェッショナルについての考えをもちたいです。

T：前の授業の振り返りで、たくさんの方が「さらにチャレンジしたいこと」として書いていましたね。では、今日のめあては…。

T：勝俣悦子さんについての文章で学んだことを生かして、板金職人、国村次郎さんの生き方からも、自分が大切にしたいことが考えられそうかな。

C：勝俣さんと同じように「きっかけ」、「困難・努力」、「学んだ考え方」に着目して読んでいくと、国村さんの生き方も分かるよ。

「海獣医師、勝俣悦子」→「板金職人、国村次郎」と読むことで、生き方をどのように読むのかや、2人のプロフェッショナルの共通点・相違点に気付いていった。さらに、自分の目指すプロフェッショナルについての考えが、国村次郎さんの生き方も読むことで広がったり、深まったりしたことを実感し、本時の学習課題である「杉野英実さんの生き方からも自分が大切にしたいことを考えたい」という意識が生まれた。

振り返り【次への一歩】

(友達と話し合っってよかったこと)

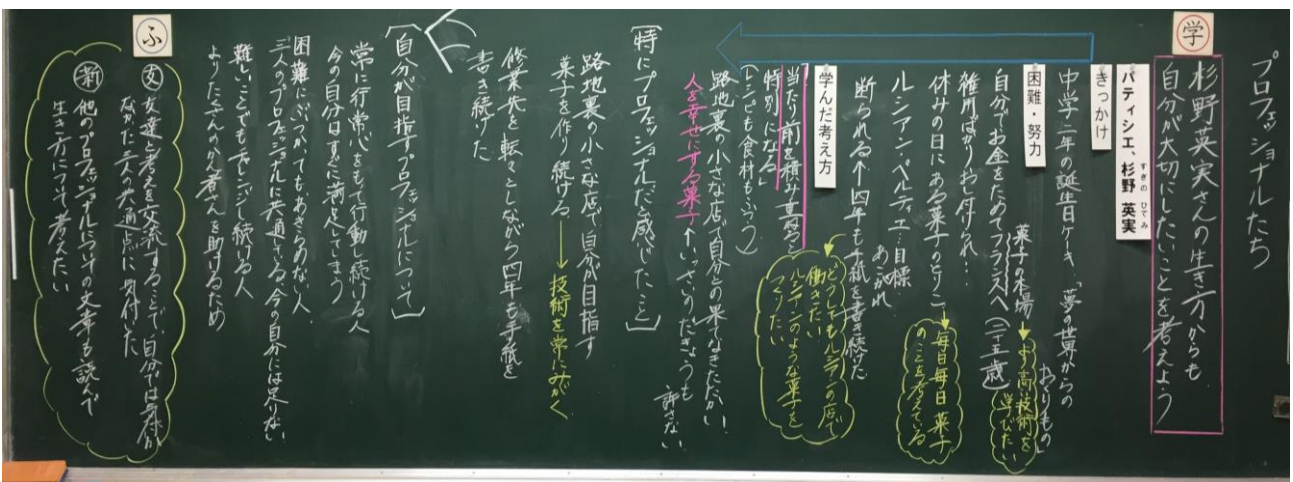
- 国村さんの生き方を読んで、特にプロフェッショナルだと感じたことは〇〇さんと同じだったけれど、自分が目指すプロフェッショナルについての考えは、全然違っていて、自分では気付かなかった考えを知ることができました。

(さらにチャレンジしたいこと)

- パティシエ、杉野英実さんについても読みたい。
- 杉野さんの生き方も読んで、自分の目指すプロフェッショナルについての考えをもちたい。さらにチャレンジしたいことに関する考えを全体で共有し、「杉野英実さんの生き方からも、自分が大切にしたいことを考えよう」という学習課題を設定した。

第5時 杉野英実さんの生き方からも、自分が大切にしたいことを考えよう (本時5/8)

【板書】



- ・小学校指導要領解説 文部科学省 2008年 東洋館出版
- ・小学校指導要領（平成29年3月告示） 文部科学省 2017年
- ・初等教育資料5 2017年 東洋館出版
- ・国語の授業で
 - 「主体的・対話的で深い学び」をどう実現するか 「読み」の授業研究会 2017年 学文社
- ・二瓶弘行と国語 夢 塾の説明文授業づくり 実践編 二瓶弘行 2015年 文溪堂
- ・プロフェッショナル 仕事の流儀1～15 茂木健一郎・NHK「プロフェッショナル」制作班
2007年 NHK出版
- ・プロフェッショナル 仕事の流儀
 - 壁を打ち破る34の生き方 NHK「プロフェッショナル」制作班 2007年 NHK出版
- ・プロフェッショナル 仕事の流儀
 - 人生と仕事を変えた57の言葉 NHK「プロフェッショナル」制作班 2011年 NHK出版
- ・授業を変える ～5つの視点～ 香川大学教育学部附属坂出小学校 2018年 文教社